・進路相談、よくある質問

1. 教職に就き野球指導者になりたい
	1. 教員就職における教科の違い

　・理科（物理・化学）、数学は全国的に教員が不足している

・社会は、免許取得可能な学部・学科が多いため難しい

・複数科目で免許があると有利

・小学校、特別支援は重宝される

・高校なら専科免許も有利に働くことがある

⇒自治体により差があるため、確認が必要

（例）東京：中高一貫募集、体育は約7倍程度、英語約2倍など

* 1. 異動について

　 ・概ね3年、7年が基本（以前は20年以上などあったが、今は短くなる方向）

・初任者は、3〜5年が多く、経験者は10年程度のこともあり

・例外として、県レベルの意向などあり

　　　（例）東京：基本は6年で異動、ただし人事権が校長にあるため、長短の差

　　　　　　　あり。部活動で全国大会出場するとプラス3年などあり。

* 1. 運動部指導について

　○基本は、配属先の学校により異なる。

・高校：経験や希望通りに指導可能な学校も多い、

各部とも複数顧問が存在する。

・中学校：高校に比較して希望が通らない事あり

　　　　　⇒中学の部活動が成立しないケースが出てきており、外部指導員採

　　　　　　用の流れもある。そのため指導希望の運動部自体が存在しない場

　　　　　　合がある。

* 1. 教員免許取得について

　 ・主に、教育大学、各大学の教育学部・教員養成コースがある大学で取得可能。

その他、各教科で取得可能な文系理系の学部は相当数あるため、

進学希望する大学について、確認しておくことが大事

　※体育の場合、教育大学と体育大学では若干授業内容が異なる傾向有り

1. 野球（女子マネージャー含む）をやりながら医療資格を取りたい

医療系の仕事に就きたい

医療（理学療法士）と民間療法（柔道整復師）の違い

消防士・警察官を目指したい

　別資料：職業特性（理学療法士、看護師、柔道整復師）

３）医療系の仕事に就きたい

①医療（理学療法士）と民間療法（柔道整復師）の違い

　別資料：職業特性（理学療法士、看護師、柔道整復師）

②大学と専門学校の違い

理学療法学科の例

・最終学歴：専門学校→専門士、大学→学士

・通学年数：専門学校３or4年、大学４年

・学費：専門学校→昼間部（３年で360~420万程度）

　　　　　　　　　夜間部（４年で360~440万程度）

　　　　大学　　→市立大学560〜640万程度

　　　　　　　　　国立大学250万程度

・卒業後の給料は大きく変わらない（公的病院は多少の差がある場合がある）

・専門学校の方が圧倒的に学校数が多い（各都道府県に１つはある）

４）スポーツトレーナーになりたい

★「理学療法士（ＰＴ）・柔道整復師・鍼灸マッサージ師＋アスレティックトレーナー（ＡＴ）」の資格の取れる学校を選ぶ。資格の取れない専門学校・大学には行っても仕事に就けない。

1. ダブルライセンス同時取得のメリット

・三年間で国家資格を２〜４つ取得することが可能で同年代に比べ早く就職可能。

・入学金や減免制度があるため、合計の学費は減る。

・半分近く試験範囲が共通のため勉強がしやすい。

（解剖学・生理学・一般臨床医学総論・各論・衛生学・病理学など）

1. ダブルライセンス同時取得のデミリット

・医学の基礎知識が無い状態で同時に試験を合格するのは容易では無い。

⇨１、２年学科をずらすと国家試験もずらすこと可能。（自分で選べる学校がほとんど）

・短期にかかる学費が高い。

・西洋医学と東洋医学を同時に学ぶのは理解が難しい。

（PT・柔整・AT⇨西洋医学　鍼灸・マッサージ⇨東洋医学）

別資料：ダブルライセンス可能な学校